

茨城県衛生研究所における病原体検出情報

— 2013年 12月号 —

1. 検出状況(12月1日～12月31日)

〈茨城県感染症発生動向調査事業に基づく試験検査〉

1)散発事例

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス 急性脳炎・脳症	RSウイルス B型									1				1
	ヒトヘルペスウイルス6型									1				1
	急性呼吸器感染症	ライノウイルス	1											1

急性脳炎・脳症 RSウイルス B型:1歳女児の鼻腔ぬぐい液から検出
ヒトヘルペスウイルス6型:1歳男児の血液から検出
急性肺炎 ライノウイルス:1ヶ月男児の鼻汁、喀痰から検出

2)集団(施設や学校等)事例

(件数:人)

疾患名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス 感染性胃腸炎	ノロウイルス GI*									3				3
	ノロウイルス GII*	39	11	25	5	12	15	21	19	17	1			165
	ノロウイルス GII*+サポウイルス			1										1
	サポウイルス			1		1								2
インフルエンザ	インフルエンザAH1pdm09												7	7

* 竜ヶ崎、土浦、つくば、筑西、常総、古河保健所のノロウイルス検査は土浦保健所が実施

感染性胃腸炎 ノロウイルス GI:つくば(小学校1カ所)
ノロウイルス GII:水戸(保育園4カ所、幼稚園2カ所、社会福祉施設2カ所、病院1カ所)
ひたちなか(保育園3カ所、小学校1カ所、社会福祉施設3カ所)
常陸大宮(保育園3カ所※1、小学校2カ所、病院1カ所)
日立(保育園1カ所)
鉾田(保育園3カ所、社会福祉施設2カ所)
潮来(保育園3カ所、小学校2カ所)、
竜ヶ崎(保育園4カ所、幼稚園1カ所、社会福祉施設1カ所、病院1カ所)
土浦(保育園4カ所、小学校2カ所、社会福祉施設1カ所)
つくば(保育園4カ所)
筑西(病院1カ所)
ノロウイルス GII+サポウイルス:常陸大宮(保育園1カ所※1)
サポウイルス:常陸大宮(保育園1カ所※1)、鉾田(宿泊施設1カ所)
インフルエンザ インフルエンザAH1pdm09:古河(小学校1カ所)

※1:同じ保育園内の発症者からノロウイルスGIIとサポウイルスを検出

3)病原体定点依頼検査(小:小児科定点、イ:インフルエンザ定点、眼:眼科定点、基:基幹定点)

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス イ インフルエンザ	インフルエンザAH1pdm09											1	1	2
	インフルエンザAH3	3	2	1				1				1		8
	インフルエンザB(Victoria系統)	1												1
	インフルエンザB(Yamagata系統)	1												1
	眼 流行性角結膜炎	アデノウイルス												1
基 無菌性髄膜炎	サイトメガロウイルス							1						1

インフルエンザ インフルエンザAH1pdm09:常総30代女性の鼻腔ぬぐい液から検出
古河50代男性の鼻腔ぬぐい液から検出
インフルエンザAH3:水戸10代男性の鼻腔ぬぐい液から、70代男性の鼻腔ぬぐい液から検出
ひたちなか20代女性の咽頭ぬぐい液から、50代男性の咽頭ぬぐい液から検出
常陸大宮10代女性の鼻腔ぬぐい液から検出
竜ヶ崎10代男性の鼻腔ぬぐい液
インフルエンザB(Victoria系統):水戸20代男性の鼻腔ぬぐい液から検出
インフルエンザB(Yamagata系統):水戸40代男性の鼻腔ぬぐい液から検出
流行性角結膜炎 アデノウイルス:30代男性の結膜ぬぐい液から検出
無菌性髄膜炎 サイトメガロウイルス:1歳男児の咽頭ぬぐい液から検出

〈食中毒検査〉

1)食中毒(疑いを含む)

(件数:人)

	疾患名	検出ウイルス	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウ イ ル ス	感染性胃腸炎	ノロウイルス G I *									3				3
		ノロウイルス G II *	12	2	2			2	7	10	4	1	2		42

* 竜ヶ崎, 土浦, つくば, 筑西, 常総, 古河保健所のノロウイルス検査は土浦保健所が実施

感染性胃腸炎

ノロウイルス G I :つくば(他県の飲食店)
 ノロウイルス G II :水戸(飲食店※3、他県の宿泊施設※4、※5)
 ひたちなか(飲食店※3、他県の宿泊施設※4)
 常陸大宮(飲食店※3、他県の宿泊施設※5)
 潮来(他県の宿泊施設※5)
 竜ヶ崎(他県の宿泊施設※4、※5)
 土浦(他県および県内の飲食店、他県の宿泊施設※4)
 つくば(イベント、他県の宿泊施設※4、※5)
 筑西(他県の宿泊施設※5)
 常総(他県の宿泊施設※5)

- ※3 同じ飲食店を利用。従業員および患者からノロウイルスG IIを検出
- ※4 他県の宿泊施設Aを利用した患者からノロウイルスG IIを検出
- ※5 他県の宿泊施設Bを利用した患者からノロウイルスG IIを検出

月別検出件数の【補足情報(ウイルス)】

- ・無菌性髄膜炎
 - 10月に検出されたエンテロウイルス属は1件がコクサッキーウイルスB3型、2件がコクサッキーウイルスB4型、1件がエコーウイルス18型であった
 - 11月に検出されたエンテロウイルス属はエコーウイルス18型であった

2. 月別検出件数

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
デング熱・チクングニア熱	デングウイルス 1型								1					1	
	デングウイルス 4型								1					1	
急性脳炎・脳症	A群ロタウイルス	1	1		1									3	
	エンテロウイルス属	1						2		1				4	
	内訳	コクサッキーウイルス B3型	1												1
		コクサッキーウイルスA2型									1				1
		コクサッキーウイルスA6型							1						1
		エコーウイルス25型							1						1
	EBウイルス								1					1	
	ヒトヘルペスウイルス 6型			1	1				3			3	1	1	10
	アデノウイルス						1				1				2
	内訳	アデノウイルス 2型									1				1
		アデノウイルス 6型					1								1
	RSウイルス													1	1
内訳	RSウイルス B型												1	1	
麻疹	ヒトヘルペスウイルス 6型		1	1	1			1			1	1		6	
	ヒトヘルペスウイルス 7型			1		1								2	
	風疹ウイルス		2	1		1	2							6	
風疹	風疹ウイルス		3	3		1	1				1			9	
	EBウイルス			1										1	
咽頭結膜熱	アデノウイルス							2	1					3	
	内訳	アデノウイルス 2型							1						1
		アデノウイルス 4型							1	1					2
感染性胃腸炎	ノロウイルス GI		3	6	9	4	4						6	32	
	ノロウイルス GI+ノロウイルス GII					1								1	
	ノロウイルス GII	7	9	19	8	7	18	16			3	72	207	366	
	ノロウイルス GII+サポウイルス												1	1	
	サポウイルス		3		10	3	3	2					2	23	
	A群ロタウイルス		5	10	8	5									28
	アデノウイルス												3		3
手足口病	エンテロウイルス属						6	22	5		1	1		35	
	内訳	コクサッキーウイルスA6型						6	21	5		1			33
		エンテロウイルス71型											1		1
		型別不能													1
ヘルパンギーナ	エンテロウイルス属							1						1	
	内訳	コクサッキーウイルスB3型						1						1	
インフルエンザ	インフルエンザAH1pdm09	1	1		2	2						4	9	19	
	インフルエンザAH3	81	34	9		1	4					22	8	159	
	インフルエンザB	1	2	6			1						2	12	
	内訳	インフルエンザB(Yamagata系統)*		2	3			1						1	7
		インフルエンザB(Victoria系統)*	1		3									1	5
流行性角結膜炎	アデノウイルス		1		1								1	3	
	内訳	アデノウイルス 53型		1											1
		アデノウイルス 4型				1									1
無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属							5	6	5	4	1		21	
	内訳	コクサッキーウイルスA6型							1						1
		コクサッキーウイルスB3型							2	1	2	1			6
		コクサッキーウイルスB4型										2			2
		エコーウイルス18型							2	4	1	1	1		9
		エコーウイルス25型								1					1
		エンテロウイルス71型										1			1
		型別不能										1			1
	パレコウイルス4型								1					1	
サイトメガロウイルス													1	1	
急性呼吸器感染症	RSウイルス	1							2				1	4	
	内訳	RSウイルス A型	1						2					3	
	ライノウイルス												1	1	
細菌	レジオネラ症	Legionella pneumophila	1	2										3	

* 今月よりインフルエンザのB型をYamagata系統とVictoria系統に分けて掲載いたします。

感染性胃腸炎に注意！！

○感染性胃腸炎ってなに？

感染性胃腸炎は、下痢や嘔吐など胃腸に悪影響を及ぼす感染症の総称です。ウイルスが原因となる場合、ノロウイルスをはじめとしてロタウイルス、アデノウイルスに加えて、最近ではサポウイルスなどもよく知られています。

毎年 11 月以降の寒い時期はノロウイルスが猛威をふるいます。ノロウイルスは少ないウイルス量で感染してすべての年代で発症します。乳幼児や老人は重症化しやすいので特に注意が必要です。

○どうやって感染するの？

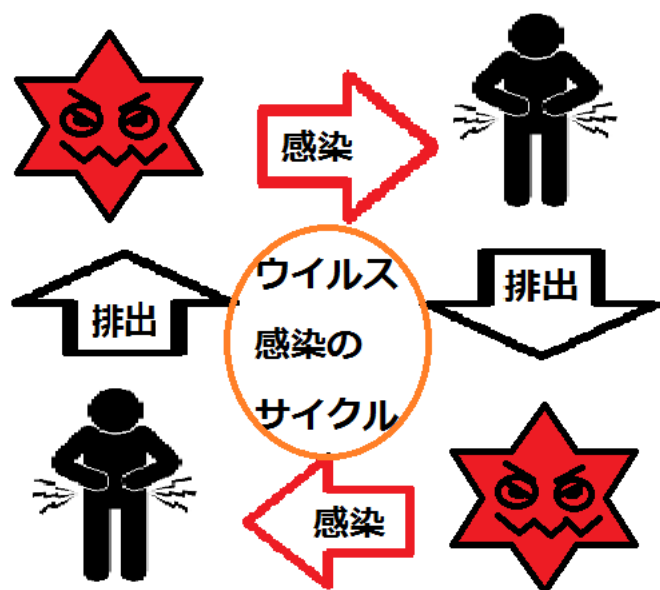
基本的に、感染した人から出たウイルスが口から入っておなかが痛くなります。しかし、その感染経路は多様で、確認が困難なことから、特定が難しい事が多いです。主な感染ルートは大きく 2 つです。

1. 人から人への感染

感染した人の便や嘔吐物を処理する際に触れた手を介して、または便や嘔吐物が乾燥し、ちりやほこりと一緒に舞い上がったものを吸い込んで感染します。

2. 汚染された食品からの感染

感染した人が十分な手洗いをせず触った食品や、汚染された井戸水、ノロウイルスを蓄積しやすい二枚貝(牡蠣など)を、生で喫食することなどにより感染します。



○治療方法は？

ウイルスを原因としている場合、特別な治療法はなく基本的に対症療法です。一過性の下痢で軽快し、予後は良好な事が多いです。一般的にウイルス性胃腸炎の場合、下痢止めを使用するとウイルスがおなかの中にとどまってしまうため使用せず、脱水に気をつけて水分補給が必要です。症状がひどいときには、早めに医療機関を受診しましょう。

○感染を防ぐには？

感染を完全に防御することは困難です。そのため、みんなが知識を持って対応することが重要です。

最も大切なことは **こまめな手洗い** です。

感染を広げないために、便や吐物を掃除する場合には手袋、マスク、エプロンなど着用の上、塩素系の消毒剤を使用し、終了後は石けんと流水で十分に手洗いをしてください。

ノロウイルスは 85～90℃、90 秒以上の加熱で感染力が失われます。

